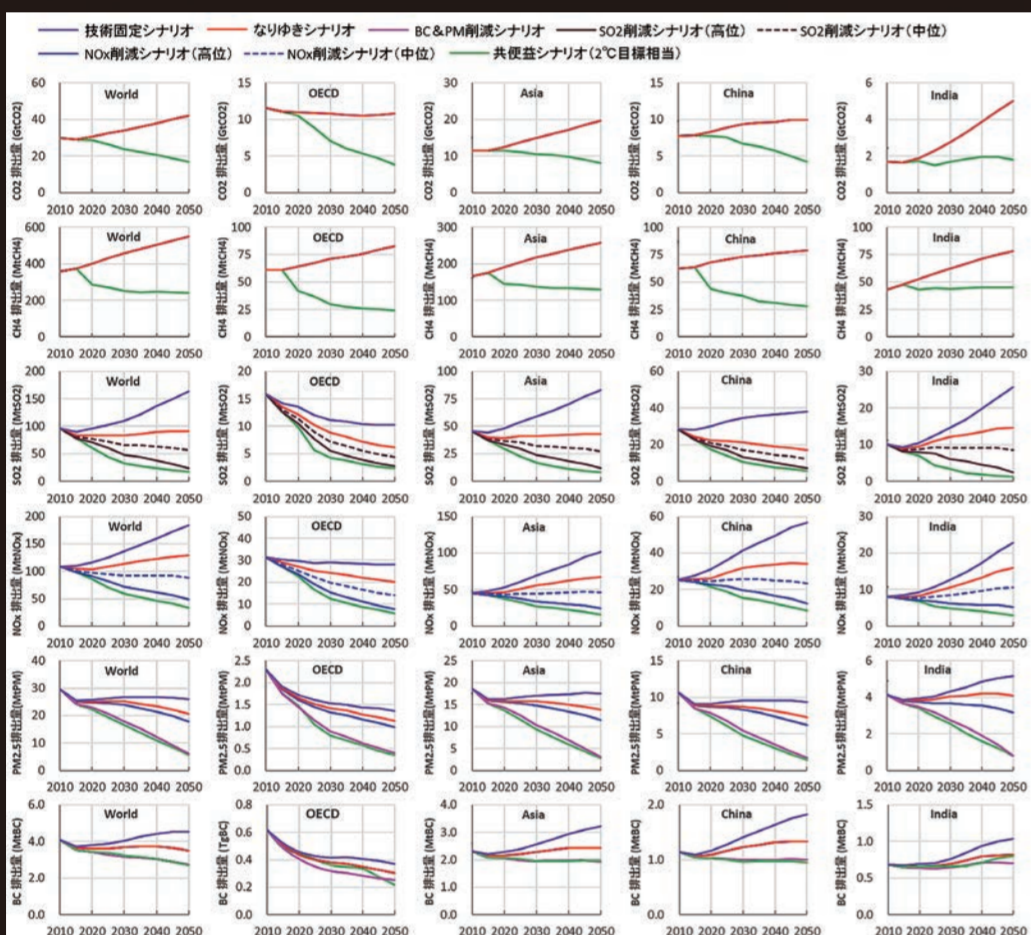


第3回 公開シンポジウム

地球温暖化と大気汚染による 影響の軽減に向けた新たな取り組み

— 短寿命気候汚染物質 (SLCP) の影響評価とその削減対策 —

大気汚染物質は環境・気候変動に大きな影響を与えます。S-12プロジェクトでは、大気汚染物質の中で「短寿命気候汚染物質」(SLCP: Short Lived Climate Pollutants)に注目しています。SLCPには煤(黒色炭素)などが含まれ、二酸化炭素などの長寿命温室効果ガスに比べて、大気中の滞留時間が短い物質です。そのため、SLCPを削減することで、環境改善だけでなく、地球温暖化を抑制する効果もあり、国際的な取り組みも行われています。第3回となる今回のシンポジウムでは、SLCPの過去から将来にかけての排出推定やSLCP削減による地域・地球規模での環境・気候影響評価といった、SLCPに関わる具体的な問題に取り組んだ最新の成果を公表し、今後の展望を議論します。



本プロジェクトで用いた統合評価モデル(AIM/Enduse[Global])で計算した、温室効果ガス(CO₂)、短寿命気候汚染物質(CH₄, BC)、大気汚染物質(SO₂, NO_x, PM2.5)の排出量に関する2050年までの様々な将来シナリオに対する排出経路の結果(2016年7月時点の試算結果)。パリ協定で示された「2度目標」の達成に向けた低炭素対策と大気汚染対策・SLCP対策を両立させる将来の排出経路について検討している。



Program

- 13:00~13:10
ごあいさつ 環境省
- 13:10~13:30
「S-12によるSLCPの排出シナリオと気候・環境影響の研究」
S-12代表 中島 映至(宇宙航空研究開発機構)
- 13:30~13:50
「東アジアにおけるSLCP原因物質の排出実態と経年変化」
黒川 純一(日本環境衛生センター
アジア大気汚染研究センター)
- 13:50~14:10
「アジア地域の家庭部門からの大気汚染物質の排出量とその影響」
倉田 学児(京都大学)
- 14:10~14:30
「短寿命気候汚染物質による気候・健康・農業への影響」
竹村 俊彦(九州大学)
- 14:30~14:50
「SLCPと地球の水循環」
鈴木 健太郎(東京大学)
- 14:50~15:20
総合討論
- 15:20~15:30
閉会あいさつ S12-代表
[司会: 鶴田 治雄(リモート・センシング技術センター)]

平成29年

1/17 火

参加費
無料

日時: 13:00~15:30

場所: 東京大学 情報学環・福武ホール
福武ラーニングシアター

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/index.html>

参加申し込み

お名前(ふりがな)、ご所属を明記の上、メールにてお申し込み下さい。

申し込み期限

平成28年12月28日(水)

申し込み先・問い合わせ先

E-mail: s12_staff@aori.u-tokyo.ac.jp